

七月二二日

朝歯医者、上下一本づつ歯を入れる。うだるような暑さで街を歩いているとクラクラするようだ。午後大学院入試製図採点。今日は世田谷村の今年前半の修了式。明日より院生は完全な夏休み。九月十五日まで完全に休ませる。私は明日から本格的に幾つかの設計作業にとりかかる。

十六時野田さん来室打合わせ。さっぱりした親娘であった。一週間後に又打ち合わせを持つという事でお別れする。十七時学校での打合わせを全て終え世田谷に向う。

夜、チヨツと大事な会議。世田谷村を一度今日で解散し、明日から違うスタイルで再出発する旨皆に伝えた。基本的には院生は全員長い休暇。夏の一ヶ月半は私をいれて大学に戻る三人を入れて総勢八名で全てをやっつけていゆこうというプラン。私も初心に戻ろうという事だ。少数精鋭のその精鋭を一気に育てなければ動きがとれないのだ。十名程を休ませることにしたので、その十名は各人各様にシヨックだったろうが、又、縁があれば会う事もあるだろう。

ワインとパンでお別れの小パーティー。

七月二三日

朝屋上で草むしり。九時ミーティング。小人数になり打合わせの密度は当然高くなる。佐藤健より電話あり、毎日新聞見たかと

言う。イケネー今日の新聞だったかと、あわてて朝刊を見るに先日の上山杉浦石山の座談がドカーンと見開き二面づち抜きで出た。全く健さんは派手なことやってくれるよ。「お前毎日取ってネエな」とどやされたりしてヒヤヒヤものの時間でした。朝刊は朝一で読んでおくものです。午後猛暑の中を大学へ、うだるといふより蒸し風呂の中を歩く感じ。でもバスやタクシーは乗らない。歩けるうちは歩く。増井工務店の増井君来室。お父さんの会社と何かできぬかとの相談。一週間後に再び会う事にする。増井君は順調に仕事をのばしているようで良かった。女性二人程進路相談。こういう相談はリアルでよい。私の方もリアルさが試されているので気持ちいいのだ。前向きでいさえすれば何とかなるものだよ、たかが二〇代の就職の事くらいでガタガタするなあってえの。しかし女の子は明るい。男は暗いが多い。

十六時世田谷村市場打ち合わせ。N棟メンバー十名程と丹羽平山の大人数になる。N棟の連中も次第に力を着けているようで、二、三の秀作が生まれつつある。この計画はかたつむりの速度だが何とかならせよう。

今夜は建築学科の先生方五人と食事をする会がある。十九時高田馬場もめん屋なる酒場で会合。とりとめの無い会だったが、学科の将来の為にはこういう良質の無駄も必要だ。文化は突きつめるに無駄の集積とその凝縮なのだから。しかし、暑苦しい一日であった。二二時三〇分世田谷に帰る。安藤一人が地下に残って仕事をしていた。どうしたんだ他のスタッフはと問うに気仙沼から高橋工業社長が二番目の息子を連れて来村、スタッフを連れて飲みに行ったとの事。聖徳寺の件で謝罪かたがたわざわざ来たらしい。駅前の焼鳥屋に行ってみると、社長がまだ幼い男の子とうちのスタッフを連れて飲んでた。全く義理固い男だ。聞けば伊東

豊雄氏の建築に参加できる事となり上京したらしい。良かったね。世界をどんどん広げてもらいたい。

七月二四日

ゲーテは植物にも異常な関心を寄せていたらしい。花田清輝の植物鉱物・・・のエッセイを思い出す。植物の近代的な種の分類法にリンネの方法というのがあり、ゲーテはその方法を死の普遍と呼んで批判していた。鉱物植物共に過大なエネルギーをもって好奇心を発露させていたらしい、その大きさはやっぱり並みじやネエなと舌を巻いた。ゲーテはローマでイタリヤの旅の整理に入った。

朝九時高橋工業社長及び息子再び来村。聖徳寺墓地打ち合わせ。何とか打開策を見出した。すぐ施主に連絡し大方の了解を得た。観音堂の基本的な案をまとめてスタッフに渡す。名古屋浜島さんより連絡アリ増改築案で良いとの事。面白い医院が作れそう。案の定、地下室のメンバーをミニマムにしたら私の仕事、すなわちスケッチが進行する。雑用、つまり教えることが頭の中から消えるからだろう。私はあらゆる意味で組織には向かぬ人間だな。十五時演習G十八時過世田谷に帰る。二〇時半頃暑さづつかれで仕事を中断。

七月二十五日

雨模様の空で今日はしのぎやすそう。オープンテックハウスは進行中のものが六物件になっている。同時に十五物件進行させることができれば他の形式の試みができるのだけれど。

九時杉並渡辺夫妻来村。夫妻はオープンテックハウス#2に満足して下さったようだ。細かい不都合な点がいくつもあり、それ

はキッチンと対応してゆく。黒テントとの唐桑臨海劇場の話になって、一度渡辺さんの家で唐桑のスライドショーをやりましょうかという話になった。唐桑の話しだしたら何時間でもするぞ。木箱で一ケースのワインをいただいた。これでは禁酒はできない。酒は止めた方が良いのは解っているんだが、こればかりはね。

十一時品川プリンスホテルへ。十勝の後藤さんと会う。ヘレンケラー記念塔セミナー棟の打ち合わせ。我々の作った案に後藤さんのアイデアが加わり良い案になった。やっぱり人には会うもの。一人で考えていたのでは突破できない事がある。セミナー棟で結婚式のパーティができるようにしようという事になる。小音楽会もやりたいね。十二時打ち合わせ終了、世田谷に戻っている。今は車中。藤塚光政より電話あり八月三十一日に毛綱の一周忌をやると言う。そうか毛綱が亡くなってもう一年になるのか。時が経つのは早い。毛綱が歴史から忘れられなければ良いのだが、あやういだろ。うな。

十六時本とコンピューター編集長河上進氏内澤句子さん来村、私の書齋の取材。一時間半程おしゃべりした。その後二人は3Fの私の仕事机の周辺を実測したようだ。